

日本医学会総会に引き続き、4月13・14日に、日本で初めての世界医学サミット World Health Summit Regional Meeting Asia 2015 を京都大学が開催することになりました(福島県立医科大学と共催)。<http://www.worldhealthsummit.org>

未曾有の超高齢社会にいち早く達した日本が、どのようにして国民の医療や健康を支えるシステムを構築するのか、そして医学アカデミアはそこでどのようなリーダーシップをとるのかに世界中が注目しています。

中医協会長の森田朗先生(国立社会保障人口問題研究所長)、社会疫学の創始者の Ichiro Kawachi 教授(Harvard 大)、エボラ出血熱の発見者 Peter Piot 大学院長(London 大)など世界の top leader による講演、10以上の panel discussion (医療技術評価、医療ビッグデータ、災害後の resilient な医療システムの構築、超高齢社会を支えるプライマリ・ケア、健康なまちのデザイン、未来のリーダーシップの育成など)が行われます。

このサミットのポスター(URL)を以下にリンクします。多くの方々に御周知いただけましたら幸いです。

<https://db.tt/YkOAjoEG>

京都大学 川上浩司 (日本薬剤疫学会理事)